

# 生きもの調査レポート

2020年10月2日 場所：神奈川県愛川町JONA田んぼ 天気：晴れ 気温25度

JONA稲刈り中（水無・畦草丈高い）		
動物調査	出現種数	種名
鳥	4種	トビ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、モズ
両生類	3種	アマガエル
甲殻類	1種	▲オカダンゴムシ類
トンボ	3種	ナツアカネ、ミヤマアカネ、ウスバキトンボ
甲虫	8種	アオバアリガタハネカクシ、メダカハネカクシ、トビムシ類、アトボシアオゴミムシ、ヒラタゴミムシ類、ゴミムシ類（小）、ナナホシテントウ、ニジュウヤホシテントウ
バッタ コオロギ キリギリス	8種	コバネイナゴ、ハラヒシバッタ、ハネナガヒシバッタ、バッタ類（灰色トノサマバッタモドキ） エンマコオロギ、コオロギ類（ハラオカメorタンポ） ウスイロササキリ、クビキリギス
その他 昆虫	15種	カマキリ（チョウセンカマキリ）、ハラビロカマキリ、コカマキリ、ツマグロヨコバイ、クモヘリカメムシ、セイヨウミツバチ、アメバチ類、キアゲハ、モンシロチョウ、キチョウ、モンシロチョウ、メイガ類（茶）、メイガ類（白）トビムシ類、ニクバエ類、カゲロウ類
クモ	10種	徘徊：イオウイロハシリグモ、キクヅキコモリグモ、キバラコモリグモ、イモコモリグモ、ハナグモ、 <b>オスクロハエトリ</b> 、ヤハズハエトリ類 造網：ナガコガネグモ、コサラグモ類
動物52種 確認 ※y = 幼虫 ▲ = 外来種		
目立った生きもの：オスクロハエトリ（株毎に見られた）		
畦草調査	出現種数	種名
在来種	25種	アオウキクサ、アオカラムシ、アゼナ、アケビ、アブノメ類、アマチャヅル、イヌタデ、イノコヅチ、ウキクサ、エノコログサ、ギシギシ、キンエノコロ、コナギ、スカシタゴボウ、スギナ、セリ、タイヌビエ、タウコギ、ツユクサ、ノゲシ、ヒガンバナ（帰化）、マツバイ、ミゾソバ、メヒシバ、ヤブガラシ
外来種	7種	アカバナユウゲショウ、アキノエノコログサ、アメリカセンダングサ、アメリカカタサブロウ、オッタチカタバミ、コヒルガオ、ハキダメギク
植物32種確認 ※畦草の外来種率22%		
*17世紀（江戸時代）以降は外来種に入れてあります。		
※小道を挟んで向かいの畦にイヌガラシ、オヒシバ、カキドオシ、チカラシバなど有り		

## 秋のJONA愛川田んぼ 解説

秋の生きものといえば、田んぼではバッタ類、クモ類が目立ちます。その中でもオスクロハエトリ（写真）という雌雄で色が違うハエトリグモ（肉食の益虫）が一株毎にみられるような多さでした。

以下のような特徴的な傾向も見られました。

- ・ 稲株にアシナガグモ類が見られず、ハエトリグモ類が多かった
- ・ 畦草刈りの頻度が低く丈が高い草が多い
- ・ トノサマバッタなど大型の草原性バッタ類は見られず
- ・ スズメが出なかった（肉食のモズが田んぼの周りを飛んで鳴いていた）
- ・ 稲刈り時に水田で見ることはあまりない樹上性のハラビロカマキリが出現
- ・ 田んぼ入口付近の中高木、水口付近の低木がアマチャヅルやアケビなどの蔓性の植物を育む多様な環境を生み出している。

また小道を挟んで上の畦にはJONA側の畦にはなかったカキドオシ、イヌガラシ、オヒシバ、チカラシバなどあった。草刈りの頻度や薬剤、田んぼの高低差による盛り土などの影響で、隣接していても違う環境が創出されます。



コカマキリ



ハラビロカマキリ



カマキリ（チョウセンカマキリ）



オスクロハエトリ



アマチャヅル



コナギの花